

# 自民党市会議員団有志による



## 福岡&北九州視察



視察 福岡市こども総合相談センターの取組 藤村武史氏

講演 アビスパ福岡 ホームタウン推進部部長

横山正人 齋藤達也 角田宏子 酒井誠  
山下正人 渡辺忠則 黒川勝

## 視察概要

### 1. 視察メンバー

自民党横浜市会議員団有志

横山正人 角田宏子 齋藤達也 酒井誠

山下正人 渡邊忠則 黒川勝

藤代耕一(下田氏講演のみ)



### 2. 日程 平成20年12月25日から26日

### 3. 行程

12月25日(木) 13時から14時

福岡市立えがお館視察

16時から17時30分

アビスパ福岡 下田功氏講演

18時から20時

下田氏を囲んで意見交換会

12月26日(金) 11時から12時

北九州市立八幡図書館

3時から

視察



# 12月25

# 福岡&北九州市視察

## 福岡市こども総合相談センター「えがお館」視察

1.施設概要

住所 福岡市中央区地行浜2-1-18 092-832-7100 <http://www.city.fukuoka.jp/egaokan>

敷地面積 : 16,121.81平方メートル  
建築面積 : 2,097.31平方メートル  
延床面積 : 12,373.92平方メートル  
構造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造  
階数 : 地下1階、地上7階建



7階建ての巨大な建物に児童相談所・青少年相談センター・教育委員会の教育相談部門の3つが一か所に集約されている施設。

1階から3階は子供たちの一時保護所のマリルーム(被虐待児・定員30人)ホットルーム(虐待以外の児童・定員10人)

4階は不登校の児童生徒の活動支援場所のはまかぜ学級

5階は0歳から20歳までのこどもやその家族・関係者の面接相談室・運動場

6階は面接室・医務室・各種療法室があり心理診断・心理療法・医師による医学的診断を行う

7階は視聴覚室・研修室で市民活動団体や関係機関の会議や研修などに活用されている

## 2.対応者

福岡市こども未来局 こども総合相談センター こども支援課 企画管理係長 金子孝司氏

12月25

福岡&北九州市視察

# 福岡市子ども総合相談センター「えがお館」視察

3. 藤林館長講演概要

子どもの相談は、素早い対応、専門的な対応が大切。

子ども・親族・関係者に対する総合相談機能の充実を図った。

職員は124名、医師や理学療法士など専門的なスタッフも多く抱えている。

相談支援は24時間3交代体制。夜間の相談が多い。

電話相談は年間11000件。件数は平成14年からほぼ横ばい。

子どもの一時保護所はいつもほぼ満杯。被虐待児とそうでない児童を分離。

定員は開設時30人から35人→40人と増やしている。

平成17年から里親普及啓発活動に重点を置いている。

子どもNPOセンター福岡など市民活動団体との連携が効果を上げている。

里親登録 平成15年 43名 → 平成19年 76名。

里親委託 平成15年 24名 → 平成19年 65名。

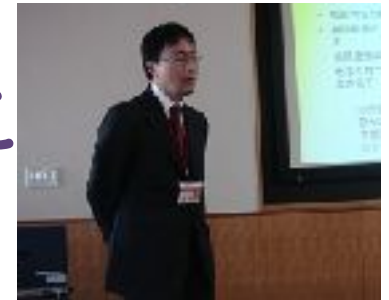
はまかせ学級は不登校児童の活動支援場所。

15歳から20歳の思春期ひきこもりの子供の施設としてピースフルを開設

訪問支援でひきこもりの子供を元ひきこもりの子がケアする事業も始めた。

スクールソーシャルワーカーを育成し現在2名が各学校を巡回。

5階の少年サポートセンターは福岡県警察が設置している。





12月25

福岡&北九州市視察

# 福岡市子ども総合相談センター「えがお館」視察

4. 質疑応答



Q 電話相談は相手を見ながら行っているのですか。

A あまりそういう要望もないが基本的にお断りしている。

内部研修・外部研修を常に行いスタッフのスキルレベルは共通している。

Q 電話相談の体制は

A 日中は嘱託で4名体制。夜間・深夜は「福岡いのちの電話」に委託して2名体制で対応。

Q 一時保護所の預かり期間。セキュリティ体制は。

A 厚労省の規定は2カ月だが、長い子もいる。平均は1カ月。一泊で帰る子もいる。

出入り口は通常のものとは別に設置。中から逃げ出す子はあるが、連れ戻す親はまだいない。

Q 里親が増えている理由は

A NPOとの連携でお盆の時期に3泊程度の「ふれあい里親イベント」を実施して効果があった。

Q 福岡市全体の体制とえがお館のコストは

A 児童相談所はここ1か所だけ。建設費用は36億円。ランニングコストは約1億円。

Q 福岡県警察との関係について

A 保護の必要な児童などについて情報交換など連携・補完関係。

警察2名。教員OB1名の体制。制服は非着用。

県内5か所のすべての児童相談所に配置されている。



12月25

福岡&北九州市視察

# 福岡市子ども総合相談センター「えび」視察



視察



相談室のカーテンは  
マジックミラーで隣室に繋がる



思春期世代向けには  
ビリヤード・卓球台



箱庭療法室とその備品



少年サポートセンターは  
福岡県警の管轄



ベッドのある診断室



隣は福岡中央特別支援学校



12月25



# 講演 「現代社会を担うスポーツの役割」

アビスパ福岡 ホーム

学生時代にサッカーで全国制覇。22歳で青年海外協力隊員としてサッカーを通じた青少年の育成でコスタリカに派遣。コスタリカU20代表のコンディショニングコーチとして北中米の大会で優勝。その後アビスパで地域貢献活動。子供たちが取り巻く環境は20年間で激変。

ムタウン推進部長 下田功氏

外遊びの減少は体力の低下。ゆとり教育は学力の低下。→生きる力が低下している。

福岡市議会 会議室

30年前の子供の活動1日270分→127分減少。外遊び1時間15分→58分。仲間7.7人→4.0人。時間・空間・仲間の3つの間がなくなった。昔は外遊びの仲間の中で生きる力や社会性を学んだ。

9-10歳のキヤングエイジ～集団遊びや役割分担をみんなで相談することで自分を客観視することを学ぶ。

今の子供たちは、人と接する機会が減った。地域で子育てが出来ない。安全・安心がない。

→→→これからはスポーツがこれを代用する役割を担う。

主催 アーバンユースネット

週2回以上スポーツする男子生徒・・・日本37% 欧米80%

12歳まではスポーツは親が子供にさせるもの→用具を買う。クラブに入れる。試合を見せる。

行政はそれを支援する→コーチの育成。スポーツの普及活動。施設の整備。

(17の政令指定都市の自

6~8歳の子供は大人が大好き。褒められたい、認められたい→褒められる、認められる→どんどん頑張る。

民党若手市会議員の組織)

日本人の70%がスポーツ好き。スポーツをするのが好きは30%、やめるのは大嫌いは40%。

子供のころにやってみたくできなかった、つまらなかった、怒られた、恥をかいた→大嫌いになった理由。

子供のころたまたまうまくできた、褒められた、みんなに認めてもらえた→好きになった理由・・・指導者次第。

指導者の役割・・・子供が成人した時から逆算して今やるべきことをやってあげる。

コーチは答えを出さない。考えさせる。なぜ、どうして、理由が言える子供に育てる。→生きる力を育む。

# 12月26

## 北九州市立八幡図書館

### 1.施設概要

住所 北九州市八幡東区尾倉2-6-2 090-671-1123

開 設 : 大正9年9月  
蔵書冊数 : 217042冊  
延床面積 : 1536平方メートル  
構 造 : 鉄筋コンクリート造  
階 数 : 地上3階建



八幡出身の昭和を代表する建築家 横浜市庁舎も手掛けた村野藤吾の設計。

旧八幡市時代に建てられた、当時としては先駆的な幾何学模様のレンガタイルの建物。

官営八幡製鉄所の史料や製鉄所の歴史など、地域の文化歴史資産に関する豊富な蔵書が特色。

### 2.対応者

北九州市立中央図書館 庶務課長 井上好二氏

北九州市立八幡図書館 館長 志賀哲雄氏 指定管理者 株式会社 図書館流通センター所属

株式会社 図書館流通センター 東京都文京区大塚2-6-2 03-3943-3501

全国140か所の図書館の運営の委託を受けている会社





# 12月26日 北九州市立八幡図書館視察

## 3.ヒアリング(井上課長・石倉館長)

図書館の指定管理者制度の導入は平成17年度から

民間事業者の創意工夫により効率的で効果的な図書館業務を行い市民サービスの向上を図ることが目的。

門司・戸畑・国際友好図書館は平成17年4月から3年間(昨年4月からは5年間)の契約

若松・八幡の図書館は平成18年4月から3年間(19年4月からは5年間)の契約

全市的な図書館の運営方針・企画の策定・施設整備・図書購入など基幹業務は中央図書館で直営

門司・八幡東・八幡西区の図書館は株式会社図書館流通センターが指定管理者

若松・戸畑の図書館は株式会社日本施設協会(地元のJCが主体となって作った会社)が指定管理者

指定管理の選定にあたって下記の8点に関して提案を求めた。

①公立図書館運営に対する基本的な考え方②専門性の確保③利用者のプライバシー保護④運営体制

⑤施設管理⑥業務運営⑦学校・地域・団体との連携⑧民間の利点を生かしたサービス

業務遂行能力・経営状況を示す資料・管理経費見積書の提出も求めた。

指定管理者の業務・・・「図書館長業務」「窓口サービス業務」「蔵書管理業務」「施設管理業務」

「読書推進業務」「ボランティア活動支援業務」などの図書館業務全般

義務付け ①図書館運営の全市的な方針決定・購入図書の決定・大きなメンテナンスは教育委員会が行う。

②現在の人員体制を基本に業務遂行上必要な人員を配置すること。

③図書館従事者の75%以上が司書資格を有すること。窓口責任者は司書資格と3年以上の勤務経験。

指定管理者導入により・・・

平日の開館時間が午後7時まで1時間延長。司書率は58%→85%。八幡で年間5200万円の経費削減。

アンケートでは、対応が親切になった・借書の頻度が多くなった・レコメンドを増えたなどの声があった

## 12月26

## 北九州市立八幡図書館

### 4.Q&A 館視察

Q 指定管理の説明会に来た業者と公募に応じた業者の推移は

A 平成17年 説明会は22社(人材派遣・ビルメンテナンス・私立大学など) 応募は門司4社 戸畑6社

平成18年 説明会は5社 応募はそれぞれ2社ずつ(図書館流通センターと日本施設協会)

平成20年 説明会は4社 応募はそれぞれ2社ずつ(図書館流通センターと日本施設協会)

平成21年 説明会は4社 応募はそれぞれ2社ずつ(図書館流通センターと日本施設協会)

Q 地元の青年会議所が主体で作ったという日本施設協会の実績や業務遂行能力に疑問はなかったのか

A 経験はないが、競争原理が必要だった。館長に元市議会議員をヘッドハントするなどの施策で個性化。

Q 指定管理者の裁量範囲が狭くないか

A お金をかけずに独自のサービスを市民団体などと協力しながらよくやってくれている。

Q レファレンスは増えているのか、その質は向上したか。

A 簡単な質問も含めた対応件数しか数字は出していないが、増えていると

Q 経費削減により図書館にメリットはあったのか。

A 市の厳しい財政状況の中で、図書購入費が1000万円アップした。

Q 市民はどう評価しているのか

A 時間延長や親切な対応などおおむね好評だと考えている。



# 12月26

## 福岡&北九州市視察

### 北九州市内 商業施設



井上秀作(小倉南区)北九州市議事務所前のダイエーにて街頭政令市市政報告

八幡北区では地元のスーパー、小倉南区は大手のダイエー、小倉北区では銀天街の商店街を視察したが、年末であるにもかかわらず人通りは今一つで、景気の悪化が感じられた。

大都市共通の課題として、地域の商店街の活性化、  
政令市の議会や議員の改革、特別市制度の研究、プロスポーツを頂点とした地域スポーツの活性化、などについて活発に意見交換を行った。

大都市が共通して抱える課題の解決については、これからも情報の共有や、意見交換などを行って、成功事例や失敗事例なども話し合う場を持つべきと感じた。



戸町武弘議員(八幡東区)井上秀作(小倉南区)木村年伸(小倉北区)の各議員とともに北九州の繁華街である銀天街と旦過の間の交差点にて街頭政令市市政報告

## 福岡えがお館を視察してきました。

福岡市のこども相談センター「えがお館」は、ヤフースタジアムのそばにそびえたつ7階建ての巨大な施設です。児童相談所と青少年相談センターと教育委員会の教育相談部門が一体となった施設で、育児やしつけの相談・こどもからの電話相談・こどもの虐待に関する相談や心のケア・こどもの一時保護や生活指導・里親制度・不登校やいじめの相談・思春期の若者の支援など子育てに関するすべての相談や対応がここでは行われています。また「少年サポートセンター」には福岡県警の職員が私服で詰めており、要保護児童などに関しては警察との連携も図られています。説明して下さった児童専門の精神科の医師でもある藤村館長はとても穏やかな人柄で、館長の方針や気持が施設全体を温かみのあるものに行っていることが随所に感じられました。



いろいろな機能が集中しているということは、様々な専門のスキルを持った職員の相談やケアをたらい回しにされることなくその場で受けることにつながり、緊急の問題や医学・心理学の専門的な知見が必要な問題にもすぐに対応できるということです。施設も子供たちやお母さんたちにとって安心できるつくりになっていたり、一時保護施設については同じ建物にありながらプライバシーの保護も配慮されています。36億円の建設費と年間3億円のランニングコストがかけられているとのことでしたが、やはり大きな都市にはこういった施設は必要なものだと感じました。横浜市にも児童養護施設はありますが、このような大規模のものではありませんし、点在する施設のすべてに専門の精神科の医師や心理学者が常駐できるわけではありません。

最近私は行政の予算配分について良く考えます。老人に対する福祉、子どもに対する福祉、市民の健康で文化的な生活を守ること、雇用や失業対策、中小企業支援、企業の誘致活動、安心して安全に暮らせるインフラ整備、みどりを将来に残すこと・・・様々な政策や事業が行政の役割として存在します。その優先順位を考えた時にやはりみらいの横浜を担う大切な人材である子供たちのためにかける予算と教育にかかる予算は最も重要視するべきだと思います。

こどもや子育てに対する不安の増大は、孤独な核家族が多く安心して相談出来る肉親や友人とのふれあいを持ちにくい大都市特有の問題です。ハコモノ行政といった批判はあるかもしれませんが、大規模な施設に高い機能を集積させることにより効率的に問題に取り組めます。このような大規模な施設をしっかりと創りあげた福岡市とそれをキチンと機能・運営させている藤村館長から大きなヒントをもらった視察でした。



## 政令指定都市の仲間の議員ネットワーク

北九州市議会では、来年2月1日の市議会議員選挙を控えており、年末の北九州市内の繁華街の様子を視察しがてら街頭市政報告会を一緒にやろうとのことでいきなりマイクを握らされてしまいました。北九州市では自由民主・市民クラブの戸町武弘(八幡東区)井上秀作(小倉南区)木村年伸(小倉北区)の各議員とともに北九州の繁華街である銀天街と旦過の間の交差点(写真)やスーパーの前などで街頭市政報告を行いました。年末ではありましたが、スーパーも商店街もあまりにぎやかな感じではありませんでした。

同じ政令指定都市として、都市が抱える問題には共通のものが多くあります。子育て支援や、公共交通、引きこもりや高齢者福祉、商店街対策などは、大都市に共通する問題でもありそれぞれの都市での対策や対応には参考になることが多くあります。自民党では政令指定都市の若手議員のネットワーク「アーバンユース17」を組織して年に二回集まって情報交換や勉強会をしています。戸町議員の掲げる政策はズバリ議員定数20削減です。井上議員は政策を実行できない国政には頼らずに地方議員を信頼して欲しい。木村議員も昔懐かしい商店街から地域の再生を果たしていこうと訴えています。横浜でも同じような議論が行われていますが、それぞれの議員が堂々と自分の政策を街中で市民のみなさんに訴えている姿には久々に血が騒ぎました。



私も地方分権改革が進むと議会改革は避けて通れない課題だし、政令

指定都市が国全体を引っ張っていくような改革を実現するために、大都市の若手の議員同士が連携を取っていろいろとお話をさせていただきました

最近自動車工場などを積極的に誘致してきた北九州市なので、経済危機の波が直撃しているのですが若手の議員のみなさんはとっても元気でした。必ず勝ち抜いてもらってこれからもいろいろ情報交換をしながら全国の地方議会と一緒に <http://blogs.yahoo.co.jp/masaru1965>

# 福岡&北九州市視察

## 福岡北九州視察費用明細

項目	行先	区間	交通機関	金額	小計	備考
交通費	羽田空港	金沢文庫 羽田	京浜急行	¥640		
交通費	福岡空港	羽田 福岡	JAL	¥30,900		
交通費	えがお館	福岡空港 唐人町	地下鉄	¥290		
交通費	福岡市役所	唐人町 天神	地下鉄	¥200		
交通費	ホテル日航福岡	天神 博多	地下鉄	¥200		
交通費	八幡図書館	博多 八幡	JR九州	¥2,080		
交通費	北九州空港	小倉 北九州空港	バス	¥600		
交通費	羽田空港	北九州 羽田	JAL	¥25,000	¥55,900	飛行機代
交通費	金沢文庫	羽田 金沢文庫	京浜急行	¥640	¥4,650	電車・バス
宿泊費	ホテル日航福岡			¥15,000		
研修会費	下田功氏	講演会・意見交換会		¥10,000		
合計				¥85,550		